製品仕様

取得承認		VCCI クラス B
インタフェース	RS232C ポート	D-sub 25pin メス× 1
	RS422/RS485 ポート	RJ-11 メス× 1/ ターミナルブロック× 4
	電源ジャック	未使用（バスパワーにて駆動）
スライドスイッチ	スイッチ 1	DCE、DTE
	スイッチ 2	T × ON、R × ON
		T × RTS、R × ON
		T × DTR、RTS、R × DSR、ON
データ転送速度		最大 115.2kbps
ケーブル長		最大 1200m
環境条件	動作時	温度 0 ～ 40℃／湿度 0 ～ 80%（結露なきこと）
	保管時	温度－ 20 ～ 60℃／湿度 0 ～ 80%（結露なきこと）
外形寸法		54 (W) × 75 (D) × 21 (H) mm 本体のみ（突起部を含まず）
質量		49g 本体のみ
パッケージ内容		本体 取扱説明書 製品保証書（6 か月）

保証と修理について

■ 保証について

「製品保証書」に記載されている「製品保証規定」を必ずお読みになり、本商品を正しくご使用ください。無条件で本商品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。
本商品の保証期間については、「製品保証書」に記載されている保証期間をご覧ください。

■ 修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書をご覧いただき、正しく設定・接続できていることを確認してください。現象が改善されない場合は、コレガホームページに掲載されている「修理依頼用紙」をプリントアウトのうえ、必要事項を記入したものと「製品保証書」および購入日の証明できるもののコピー（領収書、レシートなど）を添付し、商品（付属品一式とともに）をご購入された販売店へお持ちください。
修理をご依頼される場合は、次の点にご注意ください。

- 弊社へのお持ち込みによる修理は受け付けておりません。
- 修理期間中の代替機などは弊社では用意しておりませんので、あらかじめご了承ください。
- 「製品保証書」に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。
- 商品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。
- 修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 修理完了後、本商品の設定は初期化状態（工場出荷時の状態）に戻りますので、あらかじめご了承ください。

■ 有償修理について

有償修理の場合は、ご購入された販売店へお持ちください。下記 URL に有償修理価格、修理受付期間などが記載されていますのでご覧ください。

http://corega.jp/repair/

商品に関するご質問は…

商品についてご不明な点がある場合はコレガホームページの「よくあるお問い合わせ」をご覧ください。

■ よくあるお問い合わせ

コレガホームページ TOP から「サポート情報」→「よくあるお問い合わせ」の順にクリックしてください。または、下記 URL にアクセスしてください。
http://corega.okbiz.okwave.jp/

解決されない場合は、コレガサポートセンタまでお問い合わせください。
【コレガサポートセンタ】メールサポート：下記 URL をご覧ください。
http://corega.okbiz.okwave.jp/

電話　045-476-6268

〈受付時間〉
10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 18:00　祝・祭日を除く月～金曜日
ただし事前にコレガホームページで案内する指定休業日は除きます。

※本商品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、日本語版 OS のみ動作を保証しています。そのため、日本語版 OS 以外のお問い合わせはお受けできませんのでご了承ください。
※サポートセンタへのお問い合わせは日本語に限らせていただきます。
This product is supported only in Japanese.
※電話が混み合っている場合は、メールサポートをご利用ください。
※記載の内容は予告無く変更する場合があります。
※最新情報はコレガホームページ（http://corega.jp/）をご覧ください。

■ 必要事項

あらかじめ下記の必要事項を控えておいてください。

- □ 商品名
- □ シリアル番号（S/N）、リビジョンコード（Rev.）
- □ お名前、フリガナ
- □ 連絡先電話番号、FAX 番号
- □ 購入店
- □ 購入日付
- □ お使いのパソコンの機種
- □ OS
- □ 接続構成
- □ お問い合わせ内容（できる限り詳しくお知らせください）

コレガホームページのご案内

コレガホームページでは、各種商品の最新情報、最新ファームウェア、よくあるお問い合わせなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

http://corega.jp/

おことわり

本書に関する著作権等の知的財産権は、アライドテレシス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく、本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。
弊社は、予告なく本書の全体または一部を修正、改訂することがあります。
また、弊社は改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

■ 輸出管理と国外使用について
・お客様は、弊社販売製品を日本国外への持ち出しまたは「外国為替及び外国貿易法」にいう非居住者へ提供する場合、「外国為替及び外国貿易法」を含む日本政府および外国政府の輸出関連法規を厳密に遵守することに同意し、必要とされるすべての手続きをお客様の責任と費用で行うことといたします。
・弊社販売製品は、日本国内仕様であり日本国外においては、製品保証および品質保証の対象外になり製品サポートおよび修理など一切のサービスが受けられません。

Copyright©2013 アライドテレシスホールディングス株式会社
coregaは、アライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。
本書の中に掲載されているソフトウェアまたは周辺機器の名称は、各メーカの商標または登録商標です。

2013年　11月　Rev.B

Y613-21814 Rev.B

corega CG-RS232RS485 取扱説明書

このたびは「CG-RS232RS485」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書をお読みになり、正しく設置・操作してください。また、お読みになったあとも大切に保管してください。

安全にお使いいただくために お読みください

ここには、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全に正しくお使いいただくための注意事項が記載されています。使用されている警告表示および絵記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ本文をお読みください。

警告表示の説明

⚠警告	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の説明

この記号は禁止行為を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。
例）「分解禁止」

この記号は必ず行っていただきたい指示内容を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な指示内容が示されています。
例）「電源プラグをコンセントから抜く」

⚠警告

家庭用電源（AC100V）以外の電源は使用しないでください。
感電、発煙、火災、故障の原因となります。

付属の電源ケーブルまたは AC アダプタ以外は使用しないでください。また、付属の電源ケーブルまたは AC アダプタをほかの機器に使用しないでください。
感電、発煙、火災、故障の原因となります。

電源ケーブルを傷つけたり、加工したり、引っ張ったりしないでください。
電源ケーブルに重いものを載せたり、加熱や無理な曲げ、ねじり、引っ張ったりすると電源ケーブルを破損し、感電、火災の原因となります。
また、電源ケーブルが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると、感電、火災の原因となります。
電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜くときは、電源ケーブルを引っ張って抜かないでください。

電源ケーブルまたは AC アダプタのたこ足配線はしないでください。
発熱して火災の原因となります。

アース線またはアース端子を接続してください。
本商品または電源ケーブルにアース線またはアース端子が付いている場合は、アース線またはアース端子を接続してください。
感電、けが、火災、故障の原因となります。

本商品（AC アダプタを含む）を分解したり、改造したりしないでください。
感電、けが、火災、故障の原因となります。

煙が出たり、変な臭いがしたら使用を中止し、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。
そのまま使用を続けると、感電、火災の原因となります。

本商品（AC アダプタを含む）から異常音がしたり、ケースが熱くなっている状態のまま使用すると、感電、火災の原因となることがあります。すぐに電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。

本商品（AC アダプタを含む）の通風孔などから液体や異物が内部に入ったら使用を中止し、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。
そのまま使用を続けると、感電、火災の原因となります。

濡れた手で本商品（AC アダプタを含む）を扱わないでください。
感電の原因となります。

雷のときは本商品（AC アダプタを含む）や接続されているケーブル類に触らないでください。
感電の原因となります。

小さなお子様の手の届く場所に設置したり、使用したりしないでください。
感電やけがを引き起こす原因となる場合があります。

梱包用のビニール袋などは、小さなお子様の手の届く場所に置かないでください。
窒息する原因となります。

不安定な場所に設置したり、落としたりしないでください。
万一、落としたり、破損した場合は、すぐに電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜き、本商品の使用を終了してください。
そのまま使用を続けると、感電、火災の原因となります。

本商品は、一般事務および家庭での使用を目的とした商品です。
本商品は、住宅設備・医療機器・原子力設備・航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および極めて高い信頼性を要求される設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本商品を使用しないでください。本商品の故障により、社会的な損害や二次的な被害が発生するおそれがあります。

⚠注意

本商品（AC アダプタを含む）を次のような状態で使用しないでください。
・多段積み
・通風孔をふさぐ
（例：ジュータン、布団、テーブルクロス、毛布などでふさぐ）
・前後左右、上部に十分なスペースがない
（例：収納棚や本棚などの場所に押し込む）
内部温度が上昇し、火災、故障の原因となります。
また、本商品に使用しているアルミ電解コンデンサは、高い温度状態で使用し続けると早期に寿命が尽きることがあります。寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭、発煙、火災の原因となります。

本商品（AC アダプタを含む）を次のような場所で使用したり、保管したりしないでください。
・直射日光のあたる場所
・暖房器具やボイラーの近く、火気のそばなどの湿度が上がる、高温になる場所（例：発熱する装置のそばなど）
・急激な温度変化のある場所（クーラーや暖房機のそばなど、結露するような場所）
・製氷倉庫など、特に温度が下がる場所
・小さな金属類がある周辺
・風呂場やシャワー室、加湿器のそばなど水のかかる場所や湿気が多い場所
・水などの液体がかかる場所
・調理台のそばなど油煙びや湯気の当たるような場所
・高温、多湿、風通しの悪い場所
・振動が多い場所
・ほこりや粉塵の多い場所
・強風のあたる場所
・ジュータンなどを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
・塩水がかかる場所、亜硫酸ガス、アンモニアなどの腐食性ガスの発生する場所
・強い磁気や電磁波が発生する装置が近くにある場所
感電、火災、故障の原因となります。
（仕様に定められた環境条件下でご使用ください）

お手入れ可能な場所に設置してください。
本商品（AC アダプタを含む）にほこりなどが付着していると、発煙、火災の原因となります。ほこりなどが付着している場合は、電源を切り、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふき取ってください。

本商品を移動するときは、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。
感電、火災の原因となります。

取扱説明書に従って、正しく設置してください。
不適切な設置により、放熱が妨げられると、発熱による火災の原因となります。

長期間使用しないときは、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。
火災の原因となります。

本商品（AC アダプタを含む）に強い衝撃を与えないでください。
故障の原因となります。

静電気が発生しやすい場所に設置しないでください。
感電、故障の原因となります。

付属品の確認

本商品をお使いになる前に、付属品がすべてそろっていることを確認してください。万が一、欠品・不良品などがございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。→ P.4「製品仕様」

動作環境の確認

本商品をお使いになる前に、本商品が正しく動作する環境であることを確認してください。→ P.4「製品仕様」

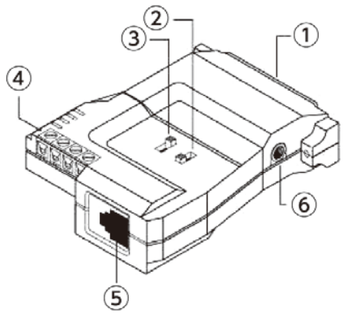
■ 注意
※必ず本製品同士の組み合わせでご使用ください。他の製品との組み合わせでの使用は保証対象外となります。
※給電非対応の RS232C ポートではご使用になれません。

特長

本製品は RS232C 信号を最大 1200m まで延長可能な RS232C 変換器です。パソコン・デバイス側それぞれに本製品を接続し RS422/485 に変換して接続距離を延長します。

1 対 1（Point to Point）および、1 対複数（マルチドロップ、シンプレックス）接続に対応します。
また RS232 側からのバスパワーで稼働するため、外部電源が不要です。
本製品の導入により、標準的なコンピュータを使用して長距離データ通信が可能になります。

各部の名称



① RS-232 DB-25 メスコネクタ
接続するデバイスの RS232 コネクタと接続してください。

② SW1：DCE/DTE 選択スイッチ
本製品が DTE デバイスに接続されている場合は、スイッチを DCE に設定してください。本製品が DCE デバイスに接続されている場合は、DTE に設定してください。
詳細な設定については次の表をご参照ください。

③ SW2：動作モード設定スイッチ
データ送受信の動作モードを設定します。詳細は次ページの表をご参照ください。

④ターミナルブロック
ユニット同士を直接ターミナルで接続する場合に使用します。

⑤ RJ-11 ポート
RJ-11 ケーブルを使用してユニット同士を接続する場合に使用します。

⑥電源ジャック
本ジャックは使用しません。電源はシリアルインターフェースからの供給となります。

スイッチ設定

本製品のデバイスモード、動作モードの設定は以下の表を参考にして SW1、SW2 を正しく設定してください。

ポジション	SW1	SW2
1	DCE	TxON、RxON
2	DTE	TxRTS、RxON
3	-	TxDTR/RTS、RxDSR/ON

各設定説明

DCE	本製品が DTE デバイスに接続されている場合は、スイッチを DCE に設定してください。
DTE	本製品が DCE デバイスに接続されている場合は、DTE に設定してください。
TxON、RxON	Point-to-Point で使用します。データ送信、受信が常に ON になっています。
TxRTS、RxON	マルチドロップで使用します。データ送信は RTS 信号が High になったときのみ、受信は常に ON になっています。
TxDTR/RTS、RxDSR/ON	マルチドロップ ハーフデュプレックスで、RS-485 通信をモニタリングする際に使用します。受信は常に ON、DSR はラインのビジー状態を監視します。ビジー状態でなければ、RTS 信号は High になりデータ送信を許可し、DTR 信号が他のデバイスに対しデータ送信を禁止します。

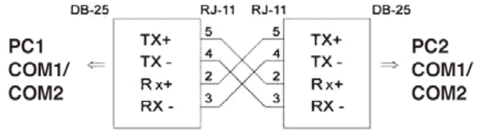
動作モード

本製品は Point to Point、マルチドロップ、シンプレックスの動作モード設定が可能です。

■ Point to Point

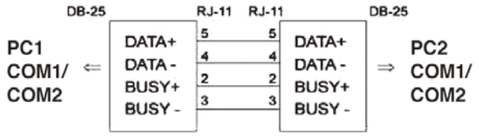
Point to Point 方式では離れた 2 つのデバイスを、2 台の本製品を使用して接続します。この場合 Point to Point フルデュプレックス（全二重）、Point to Point ハーフデュプレックス（半二重）の 2 つの設定が可能です。

1. Point to Point 4 結線 フルデュプレックス
Point to Point 4 結線 フルデュプレックスでは下図のように結線してください。



◆ SW1：DCE/DTE 選択スイッチ：接続するデバイスに応じて DCE または DTE に設定してください。DTE デバイスに接続するユニットは DCE に、DCE デバイスに接続するユニットは DTE となります。
◆ SW2：動作モード選択スイッチ：ポジション 1 の TxON、RxON に設定してください。

2. Point to Point 4 結線 ハーフデュプレックス
Point to Point 4 結線 ハーフデュプレックスでは下図のように結線してください。

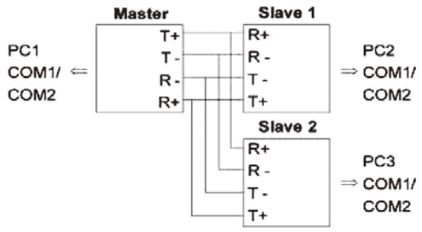


◆ SW1：DCE/DTE 選択スイッチ：接続するデバイスに応じて DCE または DTE に設定してください。DTE デバイスに接続するユニットは DCE に、DCE デバイスに接続するユニットは DTE となります。
◆ SW2：動作モード選択スイッチ：ポジション 3 の TxDTR/RTS、RxDSR/ON に設定してください。

■ マルチドロップ

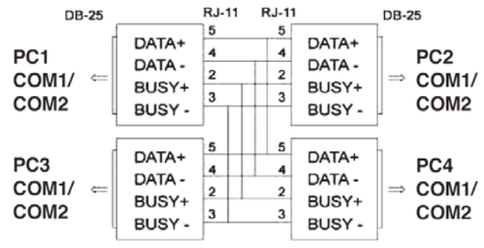
マルチドロップ方式は 2 台以上のデバイスを接続します。接続するデバイスに対応する数量のユニットが必要です。
マルチドロップ方式では 1 台のデバイスがマスターユニット、そこに接続される 1 台以上のデバイスがスレーブユニットとなり、最大 31 台までのスレーブユニットを接続できます。マルチドロップ フルデュプレックス（全二重）、マルチドロップ ハーフデュプレックス（半二重）の 2 つの設定が可能です。

1. マルチドロップ 4 結線 フルデュプレックス
マルチドロップ フルデュプレックスでは下図のように結線してください。



◆ SW1：DCE/DTE 選択スイッチ：接続するデバイスに応じて DCE または DTE に設定してください。DTE デバイスに接続するユニットは DCE に、DCE デバイスに接続するユニットは DTE となります。
◆ SW2：動作モード選択スイッチ：マスターユニットはポジション 1 の TxON、RxON に、スレーブユニットはポジション 2 の TxRTS、RxON に設定してください。

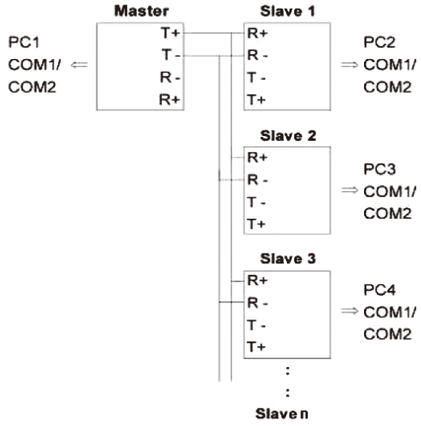
2. マルチドロップ 4 結線 ハーフデュプレックス
マルチドロップ ハーフデュプレックスでは下図のように結線してください。



◆ SW1：DCE/DTE 選択スイッチ：接続するデバイスに応じて DCE または DTE に設定してください。DTE デバイスに接続するユニットは DCE に、DCE デバイスに接続するユニットは DTE となります。
◆ SW2：動作モード選択スイッチ：全てのユニットをポジション 3 の TxDTR/RTS、RxDSR/ON に設定してください。

■ シンプレックス

シンプレックス方式は 2 台以上のデバイスを接続します。接続するデバイスに対応する数量のユニットが必要です。
シンプレックス方式では 1 台のデバイスがマスターデバイスとなり、そこに接続される 1 台以上のデバイスがスレーブデバイスとなります。マルチドロップ方式と異なる点は、マスターデバイスは Talk のみ、スレーブデバイスは Listen のみを行います。
シンプレックス方式では下図のように結線してください。



◆ SW1：DCE/DTE 選択スイッチ：接続するデバイスに応じて DCE または DTE に設定してください。DTE デバイスに接続するユニットは DCE に、DCE デバイスに接続するユニットは DTE となります。
◆ SW2：動作モード選択スイッチ：全てのユニットをポジション 1 の TxON、RxON に設定してください。

セットアップ

①セットアップ作業の前に接続するデバイスすべての電源がオフになっていることを確認してください。

②本取扱説明書動作モードの項目を参考にして、本製品のスイッチを使用する環境に合わせて正しく設定してください。

③本製品の DB-25 ピン メスコネクタをデバイスのポートに接続してください。

④ RJ-11 ポートまたはターミナルブロックを使用して本製品同士を接続します。

◆ 2 芯または 4 芯のツイストペアケーブルを使用して、本製品ユニット同士を結線します。結線は本取扱説明書の結線図を参考にしてください。
◆ ターミナルブロックを使用する場合のピンアサインメントは次項目を参考にしてください。

⑤これで 本製品ユニットの準備は完了です。デバイスの電源をオンにしてください。

トラブルシューティング

■通信ができない
1. ユニットがデバイスのコネクタに正しく接続されているか確認してください。
2. ユニット間が正しく結線されているか確認してください。
3. ユニットのスイッチが正しく設定されているか確認してください。

■データ減損が起こる
接続しているデバイスの通信レートが同一の設定であるか確認してください。

付録

■ターミナルブロック ピンアサインメント

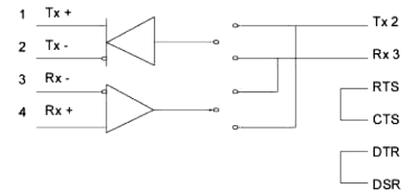
ピン	DCE/DTE
1	Transmitter +V
2	Transmitter -V
3	Receiver -V
4	Receiver +V

■DCE/DTE 接続表

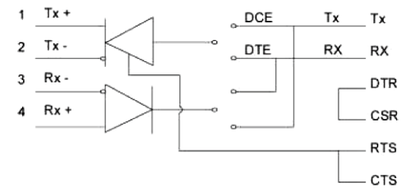
Device's Connector Pin #				Cable		CG-RS232RS485	
DCE DB-9	DTE DB-9	DCE DB-25	DTE DB-25	25/25 or 9/25 pin		DCE DB-25	DTE DB-25
2	3	3	2	Tx	Rx	2	3
3	2	2	3	Rx	Tx	3	2
8	7	5	4	RTS	CTS	4	5
7	8	4	5	CTS	RTS	5	4
4	6	20	6	DSR	DTR	6	20
6	4	6	20	DTR	DSR	20	6
5	5	7	7	GND		7	7

■SW2 動作モードピンアサインメント

1. TxON、RxON



2. TxRTS、RxON



3. TxDTR/RTS、RxDSR/ON